

令和 4 年度第 2 回コーディネーター部会の協議と関連事項の報告について

1 実施日

令和 5 年 1 月 26 日（木）

2 まちづくりコーディネーター（以下「まちコ」という。）の活動報告

(1) まちコ派遣

ア 令和 4 年度実績 9 件 ※令和 3 年度実績 6 件

派遣 依頼元	派遣内容	人数	出勤 回数
自治会	住民会議のファシリテーション（①井ヶ谷、②高須）	5	4※
	小山自治会勉強会のファシリテーション （①12月17日、②2月18日）	3	5※
市	コーディネーター部会に係るヒアリング（刈谷商工会議所青年部）	2	2※
	認知症サポーター養成講座のファシリテーション（長寿課）	2	4※
その他 団体	実行委員会のファシリテーション（ワルト・スマイルガーデン・ツツ木）	2	2
	研修会のファシリテーション（中部地区社会福祉協議会）	1	2※
	自治連合会・公民館連絡協議会合同研修会の講義	1	2※
合計		16	21※

[※] 出勤回数には事前打合せを含む

イ 課題

派遣回数は、昨年度よりは伸びているが、コロナ禍以前と比べるとまだ少ない状況（令和元年度 13 件）。これまでの実績の他に、新たな派遣先を増やせるよう今後の地域活動に注視していく必要がある。

(2) まちコゼミ（まちコ世話人が実施）

ア 令和 4 年度実績

	実施回数	累計参加人数
大野ゼミ（オンライン支援）	7	21
塚本ゼミ（広報）	4	18

イ 令和 5 年度予定 ※部会後、世話人会で協議

大野ゼミは、課題解決手法である「マンダラート」、塚本ゼミはスピーカーを招いて「まちコ個人の活動や歴史を共有する」内容を実施予定。

(3) まちコ交流会

ア 第 1 回…令和 4 年 12 月 10 日（土）14 時～16 時 実施

「いつもは別々に開催している大野ゼミ・塚本ゼミを同日開催！」

※ まちコ 6 人と世話人 2 人が参加

《内容》

- ① 塚本ゼミ／まちコメンバーの実践活動発表
- ② 大野ゼミ／スキルアップのためのグーグル活用術
- ③ 話題提供「これまでのまちコ活動について」

イ 第2回…令和5年3月4日（土）14時～16時 実施 ※部会後実施
「まちコ活動のふりかえりとこれから」

※まちコ7人と世話人1人、つなぎの学び舎実践編後期受講者1人が参加

《内容》

- ①令和4年度 まちコ活動をふりかえる。
- ②お互いに知り合いながら、わたしたちの得意を紹介し合う
- ③市民の皆さんに、「まちコの活動」を知ってもらうための掲示物をつくる

（4） つなぎの学び舎・実践編

ア [第6期] 前期：みんなの対話お助け隊コース

つなぎの学び舎・実践編「みんなの対話お助け隊」の最終回を9月11日（日）に開催し、「私の強み、活かし方を考えよう」をテーマに宿題であった「日常生活のなかで、ファシリテーションを意識した関わりをしてみる」ことをワークショップで共有、受講生同士でアドバイスや感想を伝え合った。受講生9人が修了した。

イ [第6期] 後期：まちづくり活動お助け隊コース

つなぎの学び舎・実践編「まちづくり活動お助け隊」の最終回を2月18日（土）に開催し、市内のまちづくり活動を学ぶ目的で、受講生全員がレポートを作成した。受講生6人が修了した。

ウ 成果

新たにまちづくりコーディネーターに3人が登録し、まちづくり活動のサポートを担う人材が増えた。

（参考）令和4年度学び舎受講生によるまちコ登録者

	R3基礎編	R4実践編 (前期)	R4実践編 (後期)
1	○	○	
2	○	○	△
3	○	○	○
4	○	○	○
5		○	○
6		○	○
7		○	○
8		○	
9		○	
10		△	
11		△	
12			○

△
○
網掛け

…途中辞退
…受講
…まちコ登録

エ 課題

受講者数を増やしまちづくり活動のサポートを担う人材を育成するため、受講しやすいカリキュラムの検討を行う必要がある。

3 協議結果報告：コーディネーターのネットワーク化について

- ・商工会議所青年部に、カリフェスにおける連携を想定してヒアリングを実施。
- ・カリフェスは、実行委員会の仕組みができあがっており、そこに毎回出席して関わるのは難しい。
- ・商工会議所には技術的なノウハウを持っている人がたくさんおり、それぞれの特徴を活かしてマッチングできると良い。
- ・福祉や教育、地域活動の観点においてもコーディネーターの必要性が認識されており、まちコが横につながり役割としての活躍が想定される場面が大いにある。
- ・市内でコーディネーターの役割をしている人が集まり出会う場を設けることによって、ネットワークの広がりが期待できる。交流会の企画等が期待される。
- ・以上の結果をまちコに共有し、どのような形で関われるか検討する。

4 その他：まちコ登録状況（報告）

ア 確認方法

2月17日時点で登録のあるまちコ32人を対象に登録内容の更新確認を行った。

実施期間：2月18日～3月5日 回答：17件

イ まちコ個人の活動

活動内容（1人につき複数回答あり）	活動回数（目安）
ワールド・スマイル・ガーデンツ木	1回／月
朝日総合スポーツクラブ	17回／月
刈谷市スポーツ推進委員（3名）	①1回／月、②2回／月、③3～5回／月
ミニテニス指導員	8回／月
高須のがっこう	2回／月
ガールスカウト	5～10回／月
更生保護女性会	1回／月
元刈谷公民館推進委員	1回／月
刈谷南総合スポーツクラブ運営委員	1～5回／月
名古屋市中村区日ノ宮町町内会活動	30回／月
刈谷市国際交流協会イベントグループ	1回／月
社会福祉法人ひかりの家20周年式典	1回
ひかりかがやけイベント	1回
陸上・トライアスロン・自転車審判	6回／月
ボッチャ・ボート・ジャパンラリー	1回／月
文化工房かりや	1回／月
森山良子コンサート実行委員会	1回／月
茶道体験	0.5回／月
市内外国籍児童取り出し授業・放課後教室	各8回／月
市外小中学校ICT支援員	8回／月

ウ 傾向等

まちコ派遣活動以外にもそれぞれ自身の活動に取り組まれていることが伺える。したがって、まちコ派遣活動とまちコ自身の活動の相乗効果が図られるよう、まちコ派遣の活動範囲を広げるとともに、まちコ同士の情報交換の機会を引き続き設けていくことが大切であると考えます。

まちづくり活動支援事業補助金の実施状況について

(単位:円)

No.	事業名	団体名	事業費	補助申請額	R3年度支払(予定)額 (下線は清算完了)	備考
1	没後100周年 神谷傳兵衛を知る・伝える	傳兵衛クラブ刈谷	460,000	200,000	<u>200,000</u>	
2	なかよしGS地域住民健康増進活動	なかよしGS	6,406,000	200,000	200,000	2月事業完了
3	刈谷市地域映像制作のためのビデオ講座	刈谷映画倶楽部	400,000	200,000	200,000	3月18日(土)に総合文化センター小ホールにて上映会を予定。

まちづくりびと支援事業補助金の実施状況について

(単位:円)

No.	研修等名	申請者	申請日	所属団体	補助申請額	交付決定額	支払額
1	2022年度 防災人材育成研修 防災・減災カレッジ	桑村 秀雄	R4.6.6		10,000	10,000	10,000
2	依佐美送信所と通信したスイス・イタリア無線電信局調査	鈴木 哲	R4.6.22	依佐美送信所記念館ガイドボランティアの会、刈谷市郷土文化研究会	50,000	50,000	50,000
3	JADP認定 カラーセラピスト資格取得講座	田中 怜子	R4.10.18	Well-Being	10,000	10,000	10,000

まちづくり活動支援事業補助金

No.	団体名	事業名	回数	事業目的	事業概要	事業費(円)	補助申請額(円)	得点	補助採択額	採択結果
1	元気な一ツ木 まちづくり隊	はっぴ祭り	1	一ツ木地区において、子供向けイベントの地域活動をする各団体の連携強化を目的として、各団体がそれぞれの団体の活動を応援する仕組みを作る。各活動に対しお互いで助け合える関係を構築することで、継続的に本事業及び地域事業が相乗的に発展していく可能性があると考える。また、新規に出店してみたいママさんを支援し活躍の機会を創出する。	10月に、つげの木公園及び神明社で、地域の子どもたちをメインターゲットとして地域が一体となり取り組みやすい行事である、縁日、出店、体験型イベントなどの祭り（はっぴ祭り）を開催する。	400,000	200,000	18.75	200,000	採択
2	SUHARA MUSIC FES 実行委員会	第4回 SUHARA MUSIC FES	1	アマチュア音楽家に発表の場を提供し若手音楽家の育成に寄与する。 また市民がこれを聴いて交流を深めることで地域社会の活性化につなげたい。 継続的に開催することで地域のイベントとして根付かせることを目的とする。	刈谷市および周辺で活動する若手音楽家と刈谷市北部地域住民を対象として発表者の公募を行い、令和5年5月7日(日)、刈谷市北部生涯学習センターにて音楽の発表会を開催する。また、キッチンカーやマルシェを誘致し地域住民に生の音楽と共に憩いの場を提供する。	1,200,000	200,000	21.63	200,000	採択
3	スマイルリンク	子ども食堂に お祭りを届けよう	1	子ども食堂に通う子どもたちの笑顔の創出。 多くの地域の人が、子ども食堂へ参加、通いやすくなる機会の提供。 子ども食堂の活動への認知、理解度の向上による子ども食堂へのボランティアや支援者の増加。 本団体と各子ども食堂の運営団体、その他ボランティア団体との連携強化、親睦を深めることによる新たな公益的な事業の創出。 子ども食堂のスタッフが、お祭り開催に向けた準備を本団体と一緒にを行うことで、開催に必要な計画、準備、当日の対応のノウハウを習得し、今後、お祭りを自ら開催できるようにする。	年4回、市内の子ども食堂で、子ども食堂に通う子どもたちをメインターゲットとして、お祭りを提供する。内容は、射的やわなげ、わたがし作りなどの縁日コーナー（子ども食堂での食事利用者は無料）。開催することだけでなく、子ども食堂側が自ら開催できるようになるためのノウハウの伝承を意識した進め方を行う。	400,000	200,000	17.50	200,000	採択
4	元刈谷地区 歴史研究会	元刈谷地区歴史関連 冊子制作・発行	1	平成２７年から元刈谷地区の歴史的な建物や遺跡、地形などについて研修会を実施しており、平成３１年からは地区の歴史について回覧板で地区の住民に対して公開してきた。同時に地区のホームページでも歴史について公開しており、令和４年９月現在で発行回数が５１号になった。「歴史だよりの集約本がほしい」という地区住民からの要望に応え、冊子作りを推進する。	これまで実施してきたことを継続し、月１回、会員が元刈谷市民館に集合し、元刈谷の歴史的な事柄について検討する。完成したものを回覧板で公開するとともに、地区ホームページにも掲載する。今まで発行してきた歴史だよりを再吟味するとともに新たな内容も含めて冊子を作成する。今後は、冊子を地区の公共施設に設置、地区外の施設に寄贈し、希望者には販売する。また、要望があれば、解説や講話に出向いたり、史跡巡りの支援や講演会を行う。	400,000	200,000	21.63	200,000	採択
	コーヒーかすの 再利用活動 (circulation_beans)	”circulation-beans” コーヒー豆のかすから うまれる・つながる・ 循環する　コミュニ ティガーデン事業	1	回収したコーヒーかすを「いこいプレイス」が運営する畑で地域の人と再利用して作物を栽培することで、刈谷市内のごみの廃棄量減少と市民同士の交流の活性化を図る。	令和5年春より、畑にてコーヒーかすを再利用しながら作物を栽培していくことを試みる。コンポストを用いてコーヒーかすを堆肥化させることを実践しながら、参加者皆で学んでいく機会も設け、各家庭で作った堆肥を畑でも利用できるようにしていく。	100,000	50,000	18.00	50,000	採択

N P O法人設立支援事業補助金

団体名	事業名	回数	活動目的	活動分野	事業費(円)	補助申請額(円)	得点	補助採択額	採択結果
NPO法人幸縁 (しえん)		1	国境を越えた人と人とのつながりに価値を置きながら、グアテマラ共和国の子供たちへの就学費支援や学習指導、同国の子供をとりまく生活基盤の向上を目指した就労支援、また、日本(刈谷市)とグアテマラ両国の同世代の子供の交流を通じて国際理解教育の推進に関する事業を行い、教育格差や貧困問題に係る問題の改善や解決を図り、個々の社会貢献への意識の向上と自立を促し、よりよい社会実現のためへの人材育成に寄与することを目的とする。	学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動 国際協力の活動 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動	150,000	100,000	18.88	100,000	採択

令和 4 年度かりや夢ファンド補助金 寄附実績

		年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度(予定)	
収入	寄附	トヨタグループ		200,000		70,000		80,000		80,000	
		その他企業		0		0		0		0	
		市民等		208,032		213,768		213,007		200,000	
		ふるさと納税						1,376,022		1,300,000	
		小計(a)		408,032		283,768		1,589,029		1,580,000	
	市マッチングギフト(b)		408,032		283,768		1,589,029		1,580,000		
	運用収入額(c)		16,205		7,958		9,843		10,000		
	合計(a)+(b)+(c)		832,269		575,494		3,187,901		3,170,000		
支出	内容		件数	交付額		件数	交付額		件数	交付額(予定)	
	コラボ70補助金		6	5,441,000		11	8,932,000				
	NPO法人設立支援事業補助金		0	0		0	0		0	0	
	まちづくり活動支援事業補助金		2	400,000		3	498,000		3	600,000	
	まちづくりびと支援事業補助金		0	0		0	0		3	70,000	
	合計		8	5,841,000		14	9,430,000		6	670,000	
	各年度末の基金額		12,295,442		7,906,936		13,106,837				

- ※1 令和 4 年度の交付額は令和 5 年 2 月末時点の状況であり、3 月に開催予定の複数の事業完了後に確定するため、予定額である。
- ※2 収入は、各年度【前年度 12 月～当該年度 1 月分】の金額を計上。
- ※3 令和 2～5 年度収入のトヨタグループ分は、※2 に加えて当該年度末までに予定されている寄附額を計上。
令和 4 年度分より次年度基金へ積むこととしたため、当該年度は小計 (a) に含まれていない。
- ※4 令和 2、3 年度のコラボ 70 補助金件数は、新型コロナウイルスの影響による実際の事業実施年度で計上。
- ※5 コラボ 70 補助金は、基金と一般財源で 2 分の 1 ずつ負担。

令和 4 年度 市民協働事業の進捗状況について

	事業名	概要	実施内容
1	共存・協働のまちづくり講座 (学習編)	共存・協働のまちづくりを進めていくため、市民と行政が協働を進めていく上での考え方と、行政の対応の仕方について学ぶ。	令和 4 年 9 月 1 5 日 (木) 開催 (1)受講者数：入庁 3 年目の職員等 3 9 人 (2)大野裕史氏に、「協働するとはなにか」について市職員の立場や役割を鑑みながら講義をしていただいた後、市職員より「共存・協働心得帳」について説明した。 (3)地域づくりコーディネートゲームを使用し、限られた資源や条件をつかって、どうやって目的に対して物事をコーディネートしていくかを考えるグループワークをした。
2	共存・協働のまちづくり講座 (実践編)	様々な主体と協力・連携したまちづくりを進めていくため、市民と行政が協働を進めていく上での考え方、行政の対応の仕方について学ぶ。	令和 4 年 1 2 月 2 2 日 (木) 開催 (1)受講者数：令和 2 年度及び令和 3 年度に係長・園長になった職員等 2 5 人 (2)稲葉久之氏に、「協働するとはなにか」「共存・協働のまちづくりにおける市民との向き合い方」について講義をしていただいた。 (3)自分の事業において、市民との協働をどのように取り入れられるかなどを考えてもらうグループワークをした。
3	協働のまつり場	市の施策に関して、市民・地域団体・市民活動団体等と行政が意見交換する。	令和 5 年 2 月 1 6 日 (木) 開催 (1)河川愛護運動について、関係団体（元刈谷地区連絡協議会、刈谷市民会議、ジャコウアゲハの会）と行政の関係各課で意見交換会を行った。 (2)「川がきれいだと嬉しい人は誰か」「どうつながればいいか」について 2 グループで話し合い、地元の自治会だけでなくより多くの団体に関わってもらえるヒントを得たり新たな発見に繋がったりすることができた。

4	かりや衣浦 つながるねット	刈谷市、知立市、高浜市、東浦町間の市民活動情報サイトで、イベントや団体に関する情報の閲覧、参加者やボランティアの募集・申込等ができる。	令和5年2月21日（火）より、つながるねットがリニューアルされ、どのデバイスからでも見やすく、操作性・安全性にもより配慮したサイトとなった。新サイトの操作方法について、令和4年12月18日（日）、20日（火）に団体向けの操作説明会を開催した。 知立市の「福祉健康まつり（令和5年1月29日（日）開催）」において、令和4年11月22日（火）開催の「第1回つながるねット連絡会議」で撮影したPR動画を配信した。
5	わがまちのつむぎ場	市民活動団体、企業、市民等が出会い、つながる場であるボランティア活動見本市を開催する。	令和4年12月4日（日）開催 ボランティア団体や企業19団体（午前の部10団体、午後の部9団体）がブースを設け活動を紹介した。各団体が積極的に交流を行い、情報交換が行われたことで、さらなる市民活動活性化のきっかけとなった。
6	わがまちのしゃべり場	いろいろな価値観や考え方を持つ人たちが、お互いの想いを聴いたり、話し合ったりする井戸端会議を開催する。	初対面の人々との交流会であるため、オンライン開催では交流を深めることが難しいと判断し、今年度は開催を見送った。来年度以降のしゃべり場のあり方について話し合うため、平成31年度から令和3年度の企画メンバー3名と、令和5年1月27日（金）市民ボランティア活動センターにて企画会議を開催した。

これまでの共存・協働のまちづくりの歩み

基本方針のどの項目に関わる取組みがこれまで着手されてきたか

◎：特に中心的な要素 ○：多面的に関わる要素

刈谷市 共存・協働のまちづくり基本方針		①対話の場づくり	①しゃべり場	①つなぎの学び舎	①まちコ登録制度	①住民会議	②つながるねット	②情報流通促進	③市民ボランティア活動センター	④かりや夢ファンド	④元気な地域交付金	⑤市民協働研修	⑤協働のまつり場	⑥つむぎ場	その他	備考
1. 人材育成 多くの市民が参加し、交流し、育ちあう環境をつくる	1-1 自分ごとと捉え参加する心の育成	◎	◎	◎		◎				◎	◎				○	対話の場づくり心得帳
	1-2 多様な市民の参加の促進				◎	○	○			◎	○			○		
	1-3 市民による課題解決活動への支援					○			◎	○	○					
	1-4 共存・協働コーディネーターの育成			◎	○				○					○		
2. 情報 生きた情報がめぐり、参加と知恵を生み出す	2-1 課題解決に役立つ情報発信						○		○							
	2-2 参加につながる情報の発信						◎	◎	○	○						
	2-3 必要な人に行き交う仕組み								○					○		
	2-4 インパクトある情報発信						○		◎						○	KATCH
3. 場所 ひとが集い、活動やつながりが生まれる場をつくる	3-1 出会いのコーディネート機能充実				○				○							
	3-2 拠点間連携でコーディネート機能強化		○				○								○	他市と交流
	3-3 利用者の声を反映した施設充実								○							
	3-4 地域の身近な施設や場の活用														○	スペース aqua、ワールデン
4. 財政 共感が広がり、解決する力を育てる財政支援をつくる	4-1 発展段階に応じた財政支援									○						
	4-2 向上につながる財政支援								○	○	○					
	4-3 みんなで応援できる財政支援								○	○					○	愛フェス
	4-4 行政の特色を活かし財政支援									○					○	総合補償制度、条例指定寄附金、ふるさと納税
	4-5 既存の財政の仕組を整理								◎	○	○					
5. 行政サービスへの市民参画 市民の力と施策の連動を生み出す仕組みをつくる	5-1 行政サービスの市民参画の方針											○				
	5-2 地域課題に取り組む協働事業の仕組												○			
	5-3 市民が参画しやすい環境づくり				○							○	○			
	5-4 共存・協働の市職員の意識向上											◎	◎		○	協働の心得帳
	5-5 協働の進捗を把握・改善する仕組											○	◎			
6. 団体同士、異なる主体との交流・協力 まちづくりの可能性を広げていくためのつながりづくり	6-1 異なる組織の出会い協働の育み			○	○	○					○		○	◎		
	6-2 テーマの共有と協働の促進	○	○									○		○	○	まなぼうさい
	6-3 同種テーマ間のネットワークづくり								◎				○	○	○	自治連勉強会、各種交流会
	6-4 協働のノウハウの蓄積と発信								○			○	○	○	○	コラボレポ、参加が広がる知恵袋

共存・協働のまちづくり推進基本方針（2009 年 1 月）

共存・協働のまちづくり推進条例（2009 年 4 月）

2009 年度～ 共存・協働のまちづくり推進委員会

